

同窓会だより

第 60 号

発 行

長野県松本ろう学校同窓会

「年頭挨拶」 新春を迎え皆様のご多幸とご健康を心からお祈り申し上げます。

昨年は皆様のご協力で、松本ろう学校同窓会創立 70 周年記念事業の式典及び祝賀会を無事終えることができ、改めて感謝申し上げます。

創立 70 周年記念事業として記念樹の「ハナミズキ」を植え、「農機用具倉庫」を母校に贈呈させていただきました。これも多くの皆様からの心温まる寄付のおかげです。日ごろ皆様が活動にご尽力されていることに対し、改めて感謝の意を表します。

昨年 3 月 11 日は東日本大震災が発生し、更に翌日は長野県北部にも地震が起こり、亡くなられた方、又はご家族を失った方、避難生活をされた方など、被害に遭われた皆様にお悔やみとお見舞いを申し上げます。

この災害で誰もが「自分が被災者になったらどうなるのか？」と不安になったことでしょう。長野県中部地震（平成 23 年 6 月松本震度 5 弱）が発生し、私も「防災の心構えをしないといけない。」と思いました。具体的にはまだ考えていませんが、もし被災した時はお互いに情報交換をして助け合っていくことが大切だと考えています。災害後の社会経済は更に厳しく、ろう者に関わる福祉制度改革やろう教育が本当に良くなっていくのか不安です。お互い助け合って「仲間がいるから一人ではない。仲間がいるから安心して暮らせる。」そういった心のつながりを大切にしたいと思います。

昨年 11 月 26 日（土）に筑波大学附属聾学校同窓会創立 120 周年記念祝賀会に、松本ろう学校同窓会長として招待され、出席しました。会場は東京都内御殿山ガーデンホテルフォーレ東京にて、450 名余りの参加があったそうです。松本ろう学校出身の附属聾専攻科卒業生が 5 人出席していました。正午 12 時より式典が始まり、レセプションが行われました。浅野史行会長（祝賀会実行委員長）のあいさつの後、表彰、感謝状授与、名誉会長名誉顧問の祝辞、受賞者代表謝辞などがありました。レセプションの映像上映は「小岩井是非雄先生」でした。松本ろう学校初代校長の思い出が紹介され、私たちとしては誇りであり、とても感動しました。

最後になりましたが、会員の皆様の一層のご活躍とご健康を祈念いたしまして、年頭の挨拶とさせていただきます。本年も何卒よろしくお願い申し上げます。

（松本ろう学校同窓会長 葦澤正敏）

「謹賀新年」 明けましておめでとうございます。

昨年は同窓会 70 周年記念大会に参加し、大勢の皆様とともに楽しいひとときを過ごすことができました。ありがとうございました。またはと祭では、魅力ある楽しい企画をしていただきました。同窓会の皆様の母校を思う気持ちに心より感謝申し上げます。

東日本大震災、栄村や松本での地震、台風による災害等を思うたび、生きるということがいかに尊いことなのかと思います。感謝の心を大切に日々過していきたいです。

子どもたちとともに記念樹ハナミズキの成長が楽しみです。今年もよろしくお願いします。

（松本ろう学校長 宇都宮通孝）

お悔やみ申し上げます

元同窓会長 ・ 高橋博徳 さん



高橋博徳(たかはし・ひろのり)さんが、去る 10 月 26 日(水)、病気のためご逝去。61 歳でした。

高橋さんは、松本ろう学校同窓会長(7 代)、長野県聴力障害者協会松本支部長ほかの活動にご尽力されました。

ろう者 → 盲ろう者となり、読書が一番好きで熱心でした。

●同窓会役員関係者の葦澤正敏、降旗久、内川清和、仁科和夫、内田博幸が 10 月 28 日(金)葬儀告別式に参列しました。

「弔 辞」

博徳君、今日はお別れに来ました。祭壇の博徳君の笑顔を見ると涙が止まりません。

博徳君と僕は松本ろう学校の時から 45 年間友だちでした。会社の慰安旅行の帰りに、突然博徳君が亡くなられたとのメールが突然先輩からあり、びっくりしました。本当にショックです。

僕と博徳君は学校の時から社会に出てからもお互いにいつもいろいろな相談をしたり、励まし合ったりして頑張ってきました。二人とも野球や同窓会活動でも楽しみました。思い出はたくさんあります。

一週間前、博徳君に会いたいと思って家へ行きました。お兄さんから入院したことを聞き、会えませんでした。その時、危篤状態と聞いて心配していました。まだ若いのに本当に残念です。

僕と博徳君は学校の時から社会に出てからもお互いにいつもいろいろな相談をしたり、励まし合ったりして頑張ってきました。二人とも野球や同窓会活動でも楽しみました。

思い出はたくさんあります。

長い闘病生活でお疲れ様でした。これからは安らかにお休み下さい。天国からこれからもずっと僕のことを見守ってください。今までありがとう！

(松本ろう学校同級生代表 葦澤正敏)

「高橋博徳さんを偲んで」

平成 23 年 4 月 29 ～ 30 日、母校同窓会創立 70 周年記念大会に、先輩の高橋博徳さんのご参加をお待ちしておりました。しかし、4 月初め頃病気のため不参加となってしまう、本当に残念でした。

今年 10 月末、高橋さんが亡くなられたとの事を聞き、突然で驚きました。

高橋さんは「内田さんー小岩井校長先生銅像建立ー本当にありがとう！ 母校の松本ろう学校をいつまでも見守ってほしい！ そして、同窓会定期総会に必ず出席しますよ！・・・」と、私を可愛がってください、暖かい言葉と素晴らしいご指導を頂き、感謝にたえません。

ありがとうございました。どうか安らかに眠りください。

(松本ろう学校同窓会事務局長 内田博幸)

-
- 長野県松本ろう学校・元教諭の木村律子(きむら・りつこ)先生が、11 月 29 日肺炎のためご逝去。74 歳でした。昭和 44 年 ～ 平成元年度：松本ろう学校(中学部教諭・音楽教師)に勤務されました。心からご冥福をお祈り申し上げます。
-

松本ろう学校 第41回 はと祭

平成 23 年 10 月 9 日（日）長野県松本ろう学校にて 第 41 回はと祭 が行われました。

母校会議室にて同窓会展を行い、喫茶コーナー（コーヒー販売）、パッチワーク、写真、絵画、同窓会活動などの展示をしました。同窓生、友人の皆さんと久しぶりにお会いし、交流を深め、楽しい一日を過ごしました。



◆広島県のろう者 3 名が、松本ろう学校に来校されました。日本聾史学会事務局長の亀田明美さんらは、小岩井校長先生の銅像をはじめ、ろう学校のモニュメントや文化祭を見た後、ろう教員の交流の場に参加しました。お昼は、連続小説テレビ「おひさま」のロケ地（松本市・あがたの森文化会館、安曇野市・わさび畑、水車ほか）を巡り、とても楽しかったと感想を頂きました。

（H.U 記）



岩手県立盛岡聴覚支援学校だより

創立 100 周年記念・盛輝祭

今年は岩手県立盛岡聴覚支援学校創立 100 周年の年ですが、盛輝祭（もりきさい）は、“～踏み出そう 未来の一步！～ 志（こころざし）”というテーマで 10 月 29 日（土）に行われました。

文化祭では、舞台発表や展示発表などが開催されました。記念事業として聾教育資料室が、前の高等部棟から管理棟へ移り、資料室が新しく、また広くなりました。ここでは小岩井是非雄先生のパネル展もありました。



（佐々木徹：盛岡聾同窓会役員（監事）・岩手聾史研究会）



「世界遺産を見るときめきの奈良・一泊旅行」

昨年 10 月 28 日（金）～29 日（土）、松本ろう学校同窓会東海分会の企画で「世界遺産を見るときめきの奈良・一泊旅行」が行われました。



◆ 参加者の感想 ◇

私は、奈良県橿原（かしはら）市に住んで居ります。奈良へ旅行に行きたいと言う声があり、新海さんと一緒に参加しました。

28 日、飛鳥駅からレンタル自転車に乗る予定でしたが時間がなかったので車に乗り、猿石、鉄明天皇陵 → 飛鳥資料館（美術、写真、図など）→ 飛鳥歴史公園 → 高塚 → 亀石 → 聖徳太子生誕の地（寺の中の仏像の顔が美しかった。仏像によって、それぞれ、顔の面が違います。インドの顔、中国の顔、日本の顔、一番美しいのはインドの顔です。）→ 石舞台（初めて、こんなに大きな石ですが、もし地震になったら落ちる筈ですが、今まで落ちた事がなかったです。皆、不思議そうな顔です。）→ 飛鳥寺まで見学しました。私の主人よりわかりやすく歴史の案内がありました。夕方になって、祝戸荘に着きました。清潔な部屋ではしゃぎ回っていました。お風呂でリラックスができて良かった。夕食の古代食はとっても美味しかった。古代の人の事を考えさせられました。夜、部屋では遅くまでおしゃべりして楽しかった。

29 日、藤原宮跡でコスモス畑をながめながら写真を撮りました。良い天気で笑顔のようなコスモスの花が可愛かった。そして、奈良市まで車に乗り、法隆寺、薬師寺まで歩き回りました。少し暑かったです。そして、寺の近くで奈良名物の漬け物をたくさん買った人がいた事に驚きました。皆さんは、漬け物が大好きかな？と思いました。

やっぱり明日香村（あすかむら）と言えば、まほろばの里ですね。良い所、静かな所で原風景の雰囲気はとてもいい思い出になりましたと、皆さんに感謝され、私は安心しました。お疲れ様でした。

「世界遺産を見るときめきの奈良一泊旅行」は、車よりレンタル自転車に乗りたかったと声がありました。今度、また明日香村に遊びに行きましょう。（尾崎 行 恵）

10 月 28 日～29 日、東海分会の行事で「世界遺産を見るときめきの奈良・一泊旅行」に参加しました。明日香村の飛鳥路巡りではバスが通れないほどの狭い道が多く驚きました。この辺りは世界遺産地区のため、住宅建築は不可能だそうです。楽しみにしていたレンタサイクルは、人数の調整がつかず車移動となり残念でした。夜は一軒しかない飛鳥の宿に泊まり、郷土料理の「万葉あすか葉盛御膳」という古代食を味わいました。2 日目は法隆寺、薬師寺、奈良公園へ行きました。この 2 日間先輩のご主人に案内して頂き、最高の思い出になりました。ありがとうございました。（N）

筑波大学附属聾学校同窓会創立 120 周年記念祝賀会

去る 11 月 26 日（土）12 時より東京都・ホテルラフォーレ東京にて「筑波大学附属聾学校同窓会創立 120 周年記念祝賀会」が開催され、全国から参加者が 400 名以上集まり、葦澤正敏さん、相澤英人さんらが参加しました。母校の恩師・同窓生の皆さんに久しぶりに再会でき、盛大な記念祝賀会（式典、レセプション）が行われ、楽しい一日を過ごしました。



★高橋益代さん（松本ろう中学部 → 附属聾美術専攻科卒業）は、記念祝賀会の司会を務めていました！



★ビデオ上映で、「ろうあ校長・小岩井是非雄先生」の 8 ミリビデオ映像を見て嬉しかったです！



【参加者の感想】

◆記念祝賀会が行なわれ、同じ出身の仲間と一緒に参加しました。今回の祝賀会の席は卒業した年に合わせて配置されていたので、久しぶりに同期や知ってる同窓生と会え、思い出話などして盛り上がりました。担任の先生とも久しぶりにお会いできて良かったです。ビデオ上映では松本市出身の先輩の小岩井是非雄先生が映し出され、同じ出身の私たちは嬉しく思いました。もし小岩井先生が生きていたら一緒に参加したかったなあと残念に思います。

（永原昭彦）

◆附属聾学校を卒業してから、20 数年ぶり同窓会創立 120 周年記念祝賀会に参加し、同級生や先輩、お世話になった先生とお会いできて嬉しかったです。

（H.A）

◆10 年ぶりに同窓会記念祝賀会に参加しました。参加者は 400 名以上で、さすが同窓会だなあと思いました。後輩から先輩まで幅広く会えて、忙しかったけれど、楽しかったし、嬉しかったです。

（川角和子）

【聾史だより②】

ひらばやし ひろや

【私立松本聾啞学校職員：平林弘也先生】

平林弘也先生は、大正9年諏訪市に生まれました。難聴者で官立東京聾啞学校・第54回（昭和17年3月）中等部木工科卒業 → 第56回（昭和19年3月）研究科木工科を卒業後、故郷で農業に従事していました。

昭和22～24年度、小岩井是非雄校長先生の経営する私立松本聾啞学校（白板校舎）木工科の講師に要請され、勤められました。

教え子の宮下豊輔さんと上原滋一郎さんは、平林先生より3年間木工科の指導を受けました。本棚などを上手に作り、カンナできれいに木を削る先生の姿を、今も思い出として覚えているそうです。

平林先生は、諏訪市内の特別養護老人ホームで暮らしていました。10月13日（木）、宮下さんと上原さんは諏訪へ出かけ、60年余ぶりに再会できましたが、91歳で寝たきりだったため会話やインタビューができず、非常に残念でした。その1週間後の10月20日（木）平林先生がご逝去されました。もっと早くお会いすべきでしたが、なかなか機会がなく心惜しく思い、残念に思います。

改めて、ご冥福をお祈り申し上げたいと思います。



参考資料：筑波大学附属聾学校同窓会名簿、長野県松本ろう学校（職員名簿）

内田博幸（日本聾史学会役員）

歴史探訪

東京都中央区・築地市場橋公園に、楽善会訓盲院跡地「東京盲啞学校発祥地・日本点字制定の地」の記念碑があります。

記念碑は銅板レリーフで、左に訓盲院校舎を描いてあり、右側の上は年表で、その下に点字の年表を記載。

（平成22年11月1日・記念碑建立）



◆ 同窓会:東京分会だより

「新年一泊温泉旅行（横浜市付近の万葉温泉）」

・ 日 時：平成 24 年 1 月 17 日（火）～18 日（水）

・ 参加費：16,300 円

◎東京分会会員その他、どなたでも参加できますので、

参加希望の方は、東海分会長：福与征夫までお問い合わせください。

※詳しい内容は、チラシを配布いたしますので、ご参加ください。

【お問合せ先】会長：福与征夫 ⇒ FAX03-3916-8432

◆ 同窓会:東海分会だより

・ 定期総会は、平成 24 年 2 月 26 日（日）予定です。日程・場所が決まったらお知らせします。

【お問合せ先】会長：新海和子 ⇒ FAX052-652-3737

松本ろう学校同窓会 第 67 回 定期総会のお知らせ

松本ろう学校同窓会第 67 回定期総会は、平成 24 年 3 月末 行う予定です。

予定日が決まりましたら、通知を配布いたしますので、多数ご出席ください。

下記の件について、ご意見ご要望がありましたら役員までお寄せください。

- 平成 23 年度活動報告及び会計決算報告について
- 平成 24 年度活動方針・事業計画及び会計予算について
- その他
- 役員改選
- 定期総会終了後、記念講演会を行います。講師は検討中です。



謹賀新年
◆松本ろう学校同窓会

相 談 役	相 談 役	相 談 役	相 談 役	相 談 役	世 話 役	顧 問	相 談 役	相 談 役	会 計 監 査	会 計 監 査	幹 事	幹 事	幹 事	幹 事	幹 事	会 計 部 長	事 務 局 長	会 長
川 上 正	瀧 川 隆 治	上 嶋 太	山 岡 穂	小 林 陽 子	小 林 智 明	宇 都 宮 通 孝	降 旗 久	宮 下 豊 輔	米 田 至	上 原 滋 一 郎	上 原 幸 子	中 村 諏 訪 子	熊 谷 巧	中 村 聖	相 澤 英 人	加 納 栄	内 田 博 幸	葦 澤 正 敏

長野県聴覚障害者情報センターだより

昨年 10 月 18 日（火）午後 8 時より、目で聴くテレビ（CS 障害者放送）がありました。

【内容】「松本ろう学校を築いた小岩井是非雄先生」が放映されました。

レポーター：内田博幸（松本ろう学校同窓会事務局長）



松本ろう学校専攻科展

◆日時：平成 24 年 2 月 18 日(土) 10:00 ～ 16:00

2 月 19 日(日) 9:30 ～ 14:00

◆場所：松本市なんなんひろば（南部公民館）

【連絡先】松本ろう学校 FAX0263-85-1411

■ 筑波大学附属聾学校同窓会創立 120 周年記念

「同窓会史（協力：内田博幸）」1 冊 3,000 円

★本の中に、小岩井是非雄先生、山中福代先生などが載っています。

【申込先】注文の方は、筑波大学附属聾学校同窓会事務局までご連絡下さい。

FAX047-373-1887



● 会費納入のお願い

会計部長：加 納 栄 FAX0263-78-4072

未納の方は、下記の通り **2012 年 2 月末までに** 納めてください。

平成 23 年度 ・ 単身 1, 000 円 ・ 夫婦 1, 500 円

※既に郵便払込取扱票を送りましたので、近くの郵便局で会費をお振り込みください。

【あ と が き】

明けましておめでとうございます。昨年は、大変お世話になりました。

昨年は、災害が多い年でした。松本ろう学校同窓会創立 70 周年記念大会、筑波大学附属聾学校同窓会創立 120 周年記念祝賀会等に参加して、私たちのいい思い出になりましたね。

2012 年も同窓会活動に対して、ご支援をお願い申し上げますと共に、皆様のご健康とご多幸を心からお祈り申し上げます。

（同窓会事務局長 内田記）